

## 個人情報に関する意識状況

平成15年9月に内閣府が実施した個人情報保護に関する世論調査の結果は、別添のとおりであるところ、これを平成元年6月に実施した調査（以下「前回の調査」という。）結果と比較して見ると、いずれの項目においても、他人に知られたくないと答えた割合が高くなっている。

戸籍に記載されている情報に関わる項目としては、①家族・親族等の家庭生活状況、②結婚歴・離婚歴、③生年月日、④続柄、⑤出生地が挙げられるところ、これらについて、他人に知られたくないと答えた割合は、前回の調査結果と比較して、①家族・親族等の家庭生活状況については、24.1%から55.8%に、②結婚歴・離婚歴については、10.2%から32.9%に、③生年月日については、6.4%から28.2%に、④続柄については、3.7%から20.9%に、⑤出生地については、3.8%から19.2%に、それぞれ高くなっている。

図5 他人に知られたくない個人情報

(複数回答)

